

令和6年度

岡山市障害者自立支援協議会

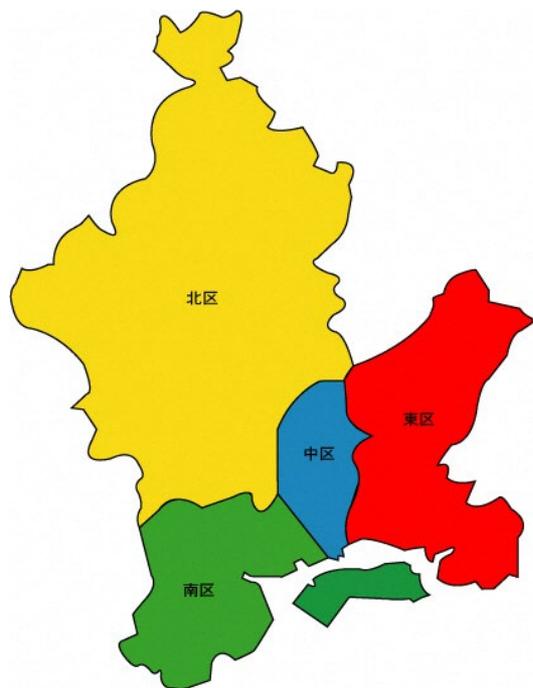
精神保健福祉部会

活動報告

地域

病院

行政



◆参加メンバー 9名

相談支援専門員(各地域部会)	3名
精神科病院(2機関)MHSW	2名
岡山市保健所	2名
岡山市障害者基幹相談支援センター	2名

◆開催頻度 2カ月に1回

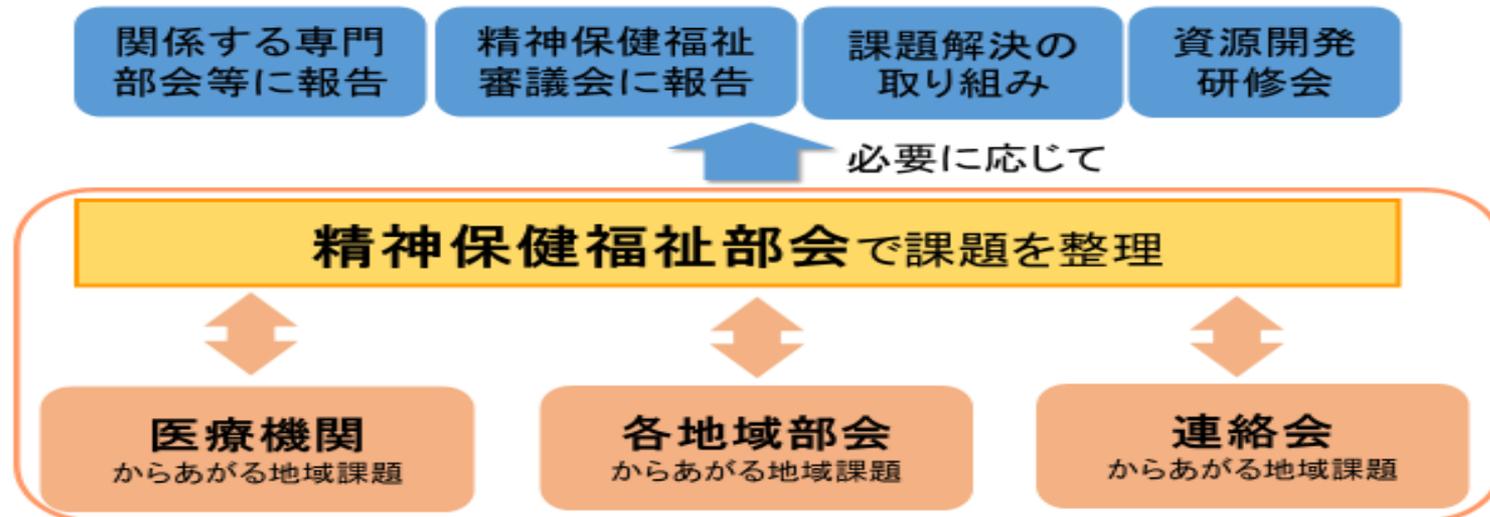


R7.6.26(木)

岡山市自立支援協議会 全体会

精神保健福祉部会

取り組みの全体像



地域精神保健福祉連絡会

各福祉区ごとに実施。精神保健福祉医療に携わる関係者が個々の役割を理解し、地域課題への研修や協議を通じ**連携**を深めるとともに**資質の向上**を図る会。

精神保健福祉部会

精神障害者の地域における**生活支援体制づくり**を推進するために必要な提言を行う部会。
精神保健福祉領域の特徴である、医療機関と地域の保健福祉領域の関係者が協議に参加。

*「つながり方」「連携のあり方」について検討する役割

令和6年度活動計画

(1) 各地域部会等との課題の共有

…抽出された内容により各地域部会や各専門部会、審議会への情報提供や協力依頼、活動連携を図る。

(2) 【第5回医療と保健福祉との連携について検討する会～医療機関編～】の開催

…医療機関からみた、保健福祉領域との連携に関する意見を集約し検討。

(3) R3～R4に実施した『8050問題』についてのまとめの共有

…地域部会 / 各専門部会 / 介護保険領域の専門領域 等々共有できる機会を設定していきます。

(4) 地域精神保健福祉連絡会への情報交換、地域課題のフィードバック

…各地域精神保健福祉連絡会から挙げられた『8050問題』に関して、活動をフィードバック。精神科医療機関、各地域部会から挙げられている地域課題を年度当初に情報提供し、次年度活動への反映を依頼。

(5) 重点項目の振り返りと新たな重点項目の抽出。

…令和元年に抽出した4つの重点項目について取り組みの振り返りを行い、(1)・(2)・(4)の機会に課題を共有し、新たに精神保健福祉部会で取り組んでいく重点項目の抽出を行う。

令和3年度～令和5年度の取り組み

«各福祉区における地域での課題の中から・・・»

支援対象者の高齢化が進みつつあり、認知症のある**高齢の親**と精神疾患のある**子ども**、引きこもりケースなど、複数の問題を抱えている8050問題への支援体制が求められている。



令和3年度 **子**の支援機関に8050問題の課題を調査

①保健センター ②各地域部会 ③精神科医療機関
にヒアリングを行い、現状の把握と課題を明確化する。

令和4年度 **親**の支援機関に8050問題の課題を調査

介護保険領域の支援機関からみた現状と課題についてヒアリングを行い、親の支援者が感じている現状の把握と課題を明確化する。

令和5年度 調査結果のまとめを作成

ヒアリングの内容をKJ法を用いて、

①困った・苦勞すること ②好事例 ③よりよくするための取り組み
の3項目に分類。まとめ結果をフィードバックするための準備を行う。

(精神保健福祉部会からの提言)

8050世帯は高齢者の親と障害者の子で構成される。

困難事例はそれぞれを分離して関わることで、問題解決が困難となる。

『各分野が一步踏み出して重なり合う連携』が必須となる。



地域包括支援センター職員に向けて報告を実施

令和6年10月25日 @南区南地域包括支援センターにて
センター長会議に部会員が参加し、連携のあり方について報告

地域精神保健福祉連絡会にて部会の活動報告を実施

令和7年2月28日 @ほっとプラザ大供にて
保健センターや各地域部会のメンバー、精神科医療機関に対して報告

令和7年度以降の活動について

- 子および親の支援機関同士が交流できる場を検討
- 精神保健福祉部会にて、各領域の支援者を対象にした研修会を企画開催

第5回 医療と保健福祉との連携について検討する会

日時：令和6年12月12日（木）

参加：岡山市内精神科5病院 + 部会員9名 + 各地域部会2名

あなたの病院が感じる地域課題とは？

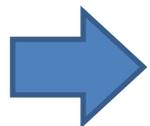
- 相談支援事業所の不足、マッチングの困難さがある
- 福祉サービス導入に時間がかかる
- 家庭全体への支援が必要なケースへの対応
- 強度行動障害への対応・発達障害への対応
- 病院に医療以外の課題が持ち込まれる
- 未受診、受診中断ケースへの関わり
- 地域によって社会資源のかたよりがある
- 身体科病院との連携
- 長期入院している認知症高齢者が年々増加

☑ 福祉サービス導入に時間がかかる…

- ・ 医療機関相談員：サービスが必要かどうかの見極め
どのようなサービスが必要かを検討
- ・ 相談支援事業所：福祉サービスの利用があれば介入



『地域の相談支援事業所につなぐタイミングが難しい💧』



相互理解ができるような取り組みを!!



「問題」と「課題」の違い

問題・・・「本来あるべき状態」と「現状」の間に生じるズレ

課題・・・問題解決のために**取り組むこと**

令和7年度活動計画(案)

(1) 各地域部会等との課題の共有

…各地域部会や各専門部会、審議会への情報提供や協力依頼、活動連携を図る。

(2) 精神保健福祉・介護保険の各領域で、

お互いの課題を話し合える場を企画開催

…各領域の支援者を対象にした研修会の実施等、お互いが顔の見える機会を作っていく。

(3) 【第6回医療と保健福祉との連携について検討する会～医療機関編～】の開催

…医療機関からみた、保健福祉領域との連携に関する意見を集約し検討。

(4) 地域精神保健福祉連絡会との情報交換、地域課題を検討

…精神科医療機関、各地域部会から挙げられている地域課題を共有し検討をしていく。

(5) 精神科領域のクリニックや診療所との連携について考える

…精神科医療を実施している入院病床を持たないクリニックや診療所の現状や課題等を共有できる場をもうけ、機関連携についての検討を行う。